



Akajima Marine Science Laboratory 阿嘉島臨海研究所

〒901-3311 沖縄県島尻郡座間味村字阿嘉179

ホームページもご覧下さい。http://www.amsl.or.jp

TEL:098-987-2304 FAX:098-987-2875 E-mail:amsl@oki-zamami.jp



## ●何がサンゴをかじるのか？

### ーサンゴ食魚類？ー

やっぱり冬は海の水も冷たくて、長い時間もぐっているとだんだん寒くなって早くあたたかいシャワーを浴びたくなります。この20年間を見ても、阿嘉島で月平均水温が一番低かったのは、2月が最も多く、次が3月でした。つまり、今が一年でも一番寒くなりやすい時期なのでしょう。とは言っても、さんご礁にすむ生き物を観察するためには、どうしても海に入らなければなりません。コブシメの卵を見ることが出来るのもこの時期だけですし、特に、あか・げるまダイビング協会の人たちと一緒に移植したサンゴたちがどうなっているのか気になるので、たびたびもぐることとなります。今回は、そんな移植したサンゴたちにまつわることを書きましょう。

サンゴを移植したのは2008年12月19日で、それからしばらくは1週間に2~3回、様子を見にもぐってました。そして、冒頭の写真は、2009年1月3日に撮

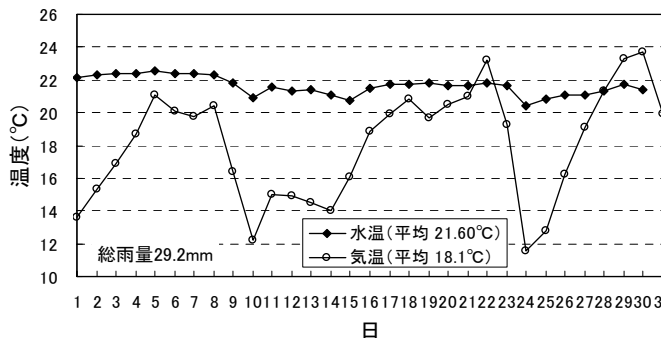
影したものです。手前のサンゴの枝の先端がなくなっているのがわかるでしょうか。移植の際、力が入りすぎたり、ぶついたりして、ときにはサンゴの枝を折ってしまうことがあります。この写真は2週間もたってから撮ったものです。移植のときのキズなら、もういづらか治っているはずですが、これらはどう見てもごく最近のもので、みなさんに心配をかけないように言っておくと、移植したサンゴの大半はキズもなく順調に暮らしているのですが、ぽつりぽつりとキズを負ったものが見られるのです。なかには写真1のように、土台のタイルの部分まで削られているものもありました。



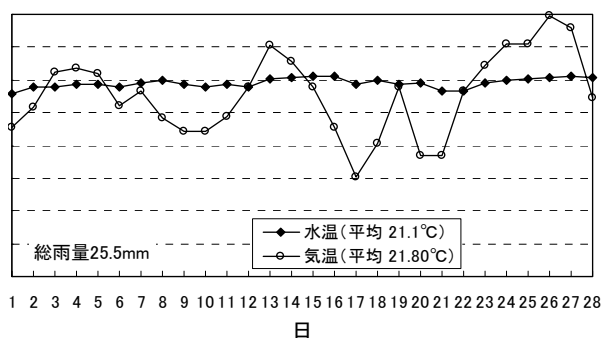
いったい原因は何なのでしょう。答えを先に言うと、実は残念ながらまだ犯人がだれなのかははっきりわかりません。ただ、きつとなにかしらの魚がサンゴをかじっているのだらうと考えています。海の中で、同じように傷ついたサンゴを見ることは珍しいことではありません。例えば、テーブル状のクシハダミドリイシの短い枝が、バリカンで刈られたように、さらに短くなっていたり、塊状のハマサンゴにも引かいたようなあとが残っていたりするのです。それがサンゴにどのくらいの影響を与えるものなのか、まだ研究していないのでわかりませんが、同じくらいの傷を受けたなら、大きなサ

## 定点観測

2009年 1月



2009年 2月



ンゴよりも小さなサンゴのほうが、きっとダメージは大きいだろうと思いますから、移植して間もない小さなサンゴにとっては、これはたいへん深刻な問題です。「それなら、何がサンゴをかじっているのか、早く見つければいいじゃないか」とみなさんは思うかもしれませんが、なかなかその現場を目撃することができないのです。これまでの経験からは、きっとブダイの仲間かモンガラカワハギの仲間だろうと、あたりはつけているのですが、具体的にどの種のどのくらいのサイズの魚が、いつサンゴをかじっているのか、そこまではわかっていません。もちろん魚の側にはそれなりの理由と都合があるのですが、せっかく育てたサンゴたちが、海の中に移植したとたんにかじられて死んでしまっはがっかりなので、これからいろいろな方法を使ってきちんと調べて、その被害を防ぐことも考えていきたいと思っています。そのためには、たくさんの情報を集めることが大切です。もしも、みなさんが海の中でサンゴ（移植したものだけではなく、どのサンゴでも良いです）をかじっている魚を見かけたら、ぜひその魚の種類やサイズ、時刻、それからサンゴの種類などを研究所に教えてもらえると大変助かります。

先ほど書いたように、移植したサンゴが全部かじられているのではなく、一部

だけですが、それがどのくらいの被害になるのかを調べるために、研究所ではふつうに移植したままのサンゴと魚にかじれないように網かぶせたサンゴで、生き残りや成長を比べようという実験をおこなっています。マジヤノハマの岩1つを囲んでいる大きな四角い網や、サンゴごと小さなかご（写真2）をかぶせてあるのが、その実験です。興味のある人は、ちょっと様子を見てみてください。



## ● 阿嘉島の海より

昨年末からずっと雨がほとんど降らず、座間味島や阿嘉島のダムの水が底をつきかけ、夜間の制限給水もしばらく続いていました。研究所でも降雨量を測定していますが、それによると12月は25.8mm、1月が29.2mm、2月が25.5mmで、3ヶ月で80.5mmしか降っていませんでした。このままでは隔日給水になるという直前、3月3日から10日にかけてある程度まとまった雨が降ってくれました。この1週間の降雨量が101mmでした。その前の3ヶ月間がいかに雨が少なかったかがわかります。さいわいこの雨のおかげでダムの貯水量も回復し、制限給水は解除されましたが、そうでなければ今頃は大変なことになっていたかもしれません。小さな離島なのでなおさら貴重な水を無駄使いしないようにしないといけませんね。